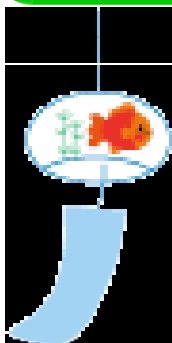




平成 27 年 7 月 1 4 日

校長室便り

文責 小川小 福本憲穂



いよいよ夏休みです。友だちと交流を深めたり、自分で計画を立ててしっかりと過ごしたり、家族や地域の一員として過ごすなどして育つ休みです。よい本をじっくり読むのもいい過ごし方です。有意義な時間が過ごせますようよろしくお願いします。

さて、今の社会では安全安心の面で、とても留意しなければならなくなりました。交通事故、不審者事案、そしてスマホ・携帯電話・P C・ゲーム機等のインターネット被害です。昨年は県南の女子高校生が命を落としています。対策が必要です。県の実態調査の結果は次のようになっています。

- 1 自由に使えるスマホなどがある。小学生(68.6%)中学生(84.5%)
- 2 家の人とルールを決めている。小学生(31.9%)中学生(46.2%)



なんと22%の小学生(小川小では31人以上ということになります)が、何のルールもなく使用し、危険にさらされているのです。インターネットは、利用すればするほど被害の確率が高くなります。子供のインターネットの経験値は日々上がっています。わが子は守られていますか。使用が必要であり、守りたいと思われれば、ルールを定めることが不可欠です。長期休業に入る今、もう一度お子さんと話し合われてください。

- 知らない人とネット上で友だちになろうとしない。絶対に会わない。
- 氏名、住所、写真等の個人情報をネットに載せたり、送信したりしない。
- ネットで、友だちを紹介しない。悪口やちくちく言葉を書き込まない。
- トラブルに巻き込まれたり、その可能性がある場合は、家族や先生にすぐ相談する。

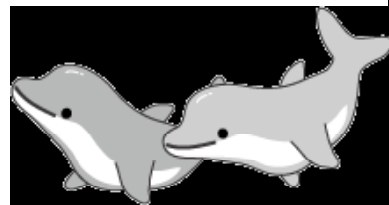


【あいさつ運動】

4月から、本校では登校時の「あいさつ運動」を頑張ってきました。児童会の企画委員会、おもいやり委員会が中心となって、正門に立ち、登校してくる児童や学校の前に行く車などに挨拶を続けています。また、その日の朝の挨拶の様子をお昼の給食時間にお知らせし、よく挨拶をした登校班を紹介しています。「明るく元気な小川小にするために、挨拶を頑張ってくれた皆さんに拍手!(拍手の音)」で終えるこの放送を私もとても楽しみにしています。さて、挨拶運動に立っている子供達には「今朝、日本一挨拶運動を頑張った児童になろう!」と声をかけています。自動車の運転手さんが返礼をしてくれる回数が今密かな楽しみです。先日なんと、106台の車から返礼がありました。数台は窓を開けて笑顔で手を振ってくださいました。「小川小の朝の挨拶で地域の方々も笑顔になってくだされば、大変嬉しいことだね。」と子供達に話しています。横断歩道を渡り終えた後の止まって頂いた車への感謝の礼も正門前では、良くなってきました。地域の方ではいかがですか。

【学校訪問】

7月2日に宇城市教育委員会(13名)から、9日に県教委宇城教育事務所(2名)からの訪問を受けました。まず、「よく整備されてきれいな学校ですね。」との声を受けました。毎朝清掃して頂いたり、休みの日にも草刈り等していただく地域の皆様の母校を思われる心と職員、子供達のできるだけ頑張ろうとする心の重なった活動のお陰と感謝しております。両日とも大変暑い中でしたが、子供達も学習に集中する姿を見せ、少しほめて頂くことが出来ました。



【社会の一員を育てましょう】

小学校は、子供達が最初に出会う社会集団の場です。「社会の一員になる」経験を積み学ぶ初めての場ですから、いろいろなことが起き、トラブルはしょっちゅうです。放っておけばすぐに「いじめ」につながる現象が起き始めます。学校でも家庭でも地域でもしっかりと子供を見て育てる小川町を目指したいものです。学校の教職員も見えないことはいくらでもあります。何か気付かれたらすぐにお知らせください。そのときは全職員で精一杯対応します。よろしくお願い致します。